

2015年3月 会社の雰囲気を1W^{7分}明るくするコミュレポ

皆さん、こんにちは。私は、コミュニケーションについての気づきを毎月1回、振り返ることにしています。せっかくなので日頃お世話になっている皆さんにもシェアできればと思いこのようなレポートを記述することにしました。ご笑読頂ければ幸いです。

丹羽/佐之

個性や能力を知る…とは？

先日「一般社団法人 社員の絆協会」の代表を務める友人が新規事業としてはじめた【サウンドバック研修】に招待いただき、参加してきました。“サウンド”？ “サンドバック”？と聞きなれたような聞きなれない言葉…。実際行ってみると、ボクシングのサンドバックを使った研修でした。サンドバックを殴ることで、ストレス解消！？ するいわゆる「体験型の研修」と思っていると、研修の内容、構築も、そして参加者の気づきも大いに深い研修でした。1年かけて改善に改善を繰り返して練り上げた研修だけです。



研修にて私の“ひ弱な“パンチ

サンドバックは使いますが、単に気持ちいいから打つのではなく、全体としてはNLP理論のV（見る）、A（聞く）、K（感覚）に沿った理論を持ち、自分が主体者となり、サンドバックを殴るだけでなく、誰かを応援する”サウンドバック“するという2つの意味を掛けたワークショップ型研修です。

深い気づき…と書きましたが、実際やってみなければ分からない…そんな感じでしょうか。例えば「応援されると、自分でも不思議なほど力が生まれる」「普段、良く知っている人でも、意外な一面があり、もっと能力ありそう」と気づきが生まれてきました。また、応援の声を後ろからもらうことで、その場に一体感を生み出します。日頃、感じられない「社員の潜在力」を感じ取れるだけでも、経営者にとっては意義ありますが、それ以上にその場に一体感が生まれ、今日初めて会ったばかりのセミナー参加者とも一気に互いの距離感が近くなります。私自身、この研修後の食事会で、ふと学生時代の部活の帰り道のような景色と雰囲気を思い出しました。社員、スタッフの1人1人違った個性を引出し、その能力を上手く活用すると、社内や院内が活性化するとは、分かっている実践するのは難しいものです。この研修を通じてまず「個々の個性や能力を知る」というのは、我々経営者はほんの仕事を通じての一面しか見られておらず、本人の個性ともなる**“意外な”一面を知る機会はない**のかも…と感じたのが最大の気づきかもしれません。意外な一面とは仮に仕事に積極的でないと感じる相手も「応援してあげると、こんなに底力を発揮するのか」とか「結構、面白い発想するな」、「役割与えると、活躍しそうだな」といったことです。この「社員の“意外な”一面を知れる」のは、我々経営者にとって、とても価値の高い時間だと、今回の研修を通じて痛感しました。といっても特に女性中心の職場では、経営者が関心ありでも、こういった研修に誘うのが大変かもしれません。が、とりあえず“ストレス解消”運動不足解消“のつもりで…と**食事会に誘うようなノリ**でトライしてみてもいいかもしれません。